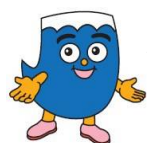


県庁のしごとと改革ニュース



県のしごとの目的や成果を「見える化」

～業務棚卸表を活用した行政評価～

静岡県が取り組んでいる「しごと改革」。今回は、仕事を「見える化」して、見直しにつなげる仕組みについてご紹介します。

これは、「業務棚卸表」というシートを活用した取組です。この取組は県民の皆さんに公開していますので、是非一度ご覧ください。

「見える化」って何？

「見える化」で県の仕事が分かります！

仕事の「見える化」とは、どんな目標を立て、どのように行い、どれだけの効果があったかを簡単に分かるようにすることです。

静岡県が行っている仕事を「見える化」したものが、「業務棚卸表」です。

「業務棚卸表」って何？

仕事の内容を書き出して、整理しました！

「棚卸（たなおろし）」という言葉から、お店の商品在庫リストのようなものをイメージされる方も多いのではないのでしょうか。

「業務棚卸表」は、その名のとおり、仕事の内容をすべて書き出し、目的ごとに整理したものです。業務棚卸表を見れば、何のために仕事をしているのか、その仕事を通じて何をどのようにしようとしているのか分かります。

県のホームページや県庁県民サービスセンター、県内9箇所の総合庁舎でご覧になれます。（<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/gyoutana.nsf/>）



県庁県民サービスセンターの業務棚卸表公開コーナー



部局ごとの業務棚卸表

ホームページ
でも見れるよ！



「業務棚卸表」を見てみましょう



業務棚卸表には、何が記載されているのでしょうか。

総合計画の位置付け		予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
目的	指標	実績	実績	実績	実績	目標
任務目的						
業務概要						
下	目的達成に必要な主な手段	評価				
01	<当該年度>	前年度までの成果の把握				
02	目的達成の主な手段を重要度等	行政活動の分析				
03	の順番で記載	成果の達成度や手段の妥当性				
		目標達成に向けての課題等				

主な内容

「総合計画の位置付け」

県の中長期的な取組を示した総合計画における「環境」「安心」「安全」「産業」「交流」「人づくり」「文化・スポーツ」の7つの分野のうち、仕事がどこに該当するか示してあります。

「総合計画の目的」

皆さんと力を合わせて、最終的に実現しようとしている県民生活の姿とそれを表す努力目標です。この目標は総合計画に掲げてある“県民の皆さんにどのような効果があったのか”という166の指標（アウトカム指標）です。

「任務目的」

総合計画の目的・目標を達成するために仕事をしている室が目指す目的です。

「業務概要」

任務目的を達成するため、室が行う業務の概要です。

「指標」

総合計画から業務概要まで、目標の達成状況を数値で示しています。

「主な手段」

室の業務概要を構成する主な仕事です。

「評価」

指標は順調に達成しているかどうか、前年度の仕事は効果があったかどうかということをもとめています。

静岡県では業務棚卸表を活用して「行政評価」を行っています！

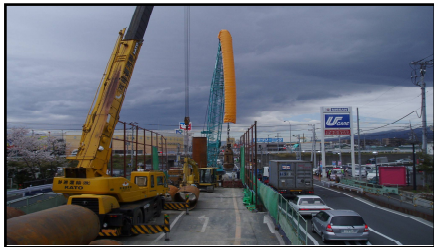
「行政評価」って何？

仕事が皆さんに役立っているかどうか業務棚卸表で評価しています！

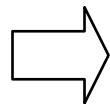
それぞれの仕事が県民の皆さんにとってどれだけの効果があったかという目標（アウトカム指標）を掲げて、達成できたかどうか、達成するためにした仕事は本当に効果があったのかどうか、評価して、仕事のやり方を見直しています。このような仕事のやり方を評価して見直す仕組みを「行政評価」と言います。

アウトカム指標

例えば、道路に関するものであれば、県民の皆さんから見て大事なことは、「工事がどれくらい進んだか」ではなく、「渋滞に巻き込まれていた時間をどれくらい短縮できたか」となり、これを仕事の目標としています。



工事がどれくらい進んだかな？



目標を変えて
みよう！



渋滞せず、車の流れもスイスイ

道路を工事することが目的ではなく、県民の皆さんが快適に道路を利用することが目的であることがハッキリするね。



「県民暮らし満足度日本一」を目指して、毎年、絶え間なく仕事を見直しています！

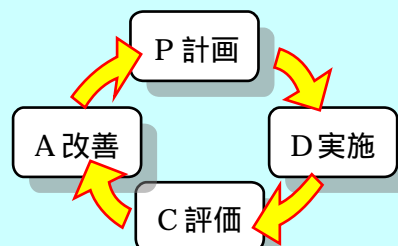
静岡県では毎年、行政評価を進めるに当たり、業務棚卸表をベースにして

P：プラン（計画） D：ドゥ（実施）

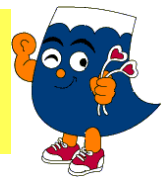
C：チェック（評価） A：アクション（改善）

というPDCAサイクルを繰り返し行うことで、「しごと改革」を進め、総合計画の目標を着実に実現します。

PDCAサイクル！



行政評価により、仕事のやり方を見直した例 (例1 食品衛生室)



どんな目標を立てて、仕事をしているの？

食中毒の発生を減らします！

食中毒や食品の偽装表示が発生して、食品の安全性に不安を持つ方が増えています。

そこで、10万人当たりの食中毒の発生を減らす目標を立てました。

目標 17年度 約26人 22年度 10人以下



スーパーで食品の衛生状態を確認している様子

どんな風に仕事のやり方を見直したの？

食中毒の発生がなかなか減らないので、思い切って仕事のやり方にメリハリをつけました！

これまで

飲食店や食品を製造・販売する施設を一律に見回り、食品の衛生状態が保たれているかどうか確認していました



見直し後

これまでの食中毒発生状況の分析をもとに、食中毒が発生しやすいところの監視回数を増やして、メリハリをつけました

(例2 林業振興室)

どんな目標を立てて、仕事をしているの？

県産の木材生産量を増やします！

最近、外国産木材に押されていた木材需要に、国産木材利用の動きが高まっています。

そこで、県産木材生産量を増やす目標を立てました。

目標 17年度 約31万m³ 22年度 42万m³



木材生産の現場

どんな風に仕事のやり方を見直したの？

県産の木材生産の需要を高めるため、県産優良木材を使用して住宅を建設するときの資金援助の方法を変更しました！

これまで

金融機関からの借入金の利子の一部を援助していました



見直し後

建設資金の一定額を援助する制度に変更した結果、利用者が増え、県産木材を扱う工場も増えました

静岡県総務部企画監（行政改革担当）

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2911 FAX：054-221-2750

e-mail gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>